

# 近畿大学医学雑誌

第17巻 第3号

1992

原 著

- 死体腎移植における予後因子の検討 .....今西正昭, 西岡 伯, 松浦 健  
秋山隆弘, 栗田 孝 357
- 右室負荷疾患における左室収縮および拡張機能障害 .....内藤武夫 365
- 経皮的冠動脈形成術後の経時的冠動脈造影所見と再狭窄の関係.....加藤久晴 383
- 漿膜浸潤陰性胃癌における癌再発死亡の検討 .....田中 晃, 奥野清隆, 大西博昭  
中嶋一三, 渡辺 勉, 藤井良憲  
陣内浩喜, 吉川栄人, 安富正幸 405
- 健常人および上部消化器癌患者における末梢血マクロファージの  
interleukin 1 $\beta$ , tumor necrosis factor  $\alpha$ , interleukin 6 産生能の検討.....野口 淳 415
- 胆管結石の予後に関する臨床的研究: 特に急性閉塞性化膿性胆管炎について.....粟田哲司 433

症 例

- 双極性感情障害の経過中に現れた失語症の1例 .....横内敏郎, 中村公美, 柳井美香  
鶴田千尋, 橋本篤孝, 花田雅憲 451
- 精神遅滞に慢性腎不全を伴い透析療法を必要とした  
癲癇の1症例 .....柳井美香, 下和田英洋, 橋本篤孝  
人見一彦 463
- 慢性透析患者に対する冠血行再建術の1例 .....佐賀俊彦, 城谷 均, 奥 秀喬  
井上 知 471

MEDICAL JOURNAL OF KINKI UNIVERSITY

近畿大学医学雑誌

第17巻 第3号 1992

目 次

原 著

- 死体腎移植における予後因子の検討 .....今西正昭, 西岡 伯, 松浦 健  
秋山隆弘, 栗田 孝 357
- 右室負荷疾患における左室収縮および拡張機能障害 .....内藤武夫 365
- 経皮的冠動脈形成術後の経時的冠動脈造影所見と再狭窄の関係 .....加藤久晴 383
- 漿膜浸潤陰性胃癌における癌再発死亡の検討 .....田中 兎, 奥野清隆, 大西博昭  
中嶋一三, 渡辺 勉, 藤井良憲  
陣内浩喜, 吉川栄人, 安富正幸 405
- 健常人および上部消化器癌患者における末梢血マクロファージの  
interleukin  $1\beta$ , tumor necrosis factor  $\alpha$ , interleukin 6 産生能の検討 .....野口 淳 415
- 胆管結石の予後に関する臨床的研究: 特に急性閉塞性化膿性胆管炎について .....栗田哲司 433

症 例

- 双極性感情障害の経過中に現れた失語症の1例 .....横内敏郎, 中村公美, 柳井美香  
鶴田千尋, 橋本篤孝, 花田雅憲 451
- 精神遅滞に慢性腎不全を伴い透析療法を必要とした  
癲癇の1症例 .....柳井美香, 下和田英洋, 橋本篤孝  
人見一彦 463
- 慢性透析患者に対する冠血行再建術の1例 .....佐賀俊彦, 城谷 均, 奥 秀香  
井上 知 471

## CONTENTS

### Originals

- Evaluation of prognostic factors in cadaveric renal transplantation  
..... Masaaki Imanishi, Tsukasa Nishioka, Takeshi Matsuura,  
Takahiro Akiyama and Takashi Kurita 357
- Impairment of left ventricular systolic and diastolic function  
in patients with right ventricular overload .....Takeo Naito 365
- Relationship between restenosis and successive angiographic  
findings of the coronary artery lesions after percutaneous  
transluminal coronary angioplasty .....Hisaharu Kato 383
- Studies on death due to recurrence in gastric cancer  
without serosal invasion.....Akira Tanaka, Kiyotaka Okuno, Hiroaki Onishi,  
Ichizou Nakajima, Tsutomu Watanabe, Yoshinori Fujii,  
Hiroki Jinnai, Hideto Yoshikawa and Masayuki Yasutomi 405
- Studies on the production of interleukin  $1\beta$ , tumor necrosis factor  $\alpha$ ,  
interleukin 6 in peripheral macrophages obtained from healthy  
subjects and patients with cancer of the upper digestive tract  
.....Jun Noguchi 415
- Clinical observation on the prognosis of bile duct stone :  
especially about acute obstructive suppurative cholangitis.....Tetsuji Awata 433

### Case Reports

- A case of aphasia during manic-depressive disorder  
..... Toshio Yokouchi, Kimi Nakamura, Mika Yanai,  
Chihiro Tsuruta, Atsutaka Hashimoto and Masanori Hanada 451
- A case of epilepsy with mental retardation and chronic renal  
failure requiring hemodialysis therapy  
..... Mika Yanai, Hidehiro Shimowada, Atsutaka Hashimoto  
and Kazuhiko Hitomi 463
- Coronary artery bypass grafting in a dialysis patient  
..... Toshihiko Saga, Hitoshi Shirotni, Hidetaka Oku  
and Satoshi Inoue 471

# 近畿大学医学会会則

第 1 条 本会は、近畿大学医学会と称する。

第 2 条 本会は、医学の進歩発展に寄与し、医学的知識の向上と、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 近畿大学医学雑誌および Acta Medica Kinki University の発行
2. 学術講演会の開催
3. 学術図書の発行
4. その他本会の目的を達成するために必要な事業

第 4 条 本会は、次の会員をもって組織する。

正会員 近畿大学医学部および医学部附属病院の教員・研修医・大学院学生・特別研究生及び学部学生

近畿大学教職員および研究員のうち入会を希望するもので評議員会で承認されたもの

近畿大学医学部卒業生

名誉会員 本会の発展に著しい貢献のあった者で、幹事会の提議により評議員会で承認されたもの

特別会員 前記会員のほか、本会の主旨に賛同し入会を希望する医学関係者で評議員会で承認されたもの

賛助会員 本会の主旨に賛同し、本会に援助することを希望するもので、評議員会で承認されたもの

第 5 条 会員は、附則に定める会費および入会金を納入しなければならない。

2. 会費を納入した会員は、近畿大学医学雑誌および Acta Medica Kinki University の配布をうけるほか、第 3 条の事業に参加することができる。

第 6 条 本会に次の役員をおく。

名誉会長 1 名 近畿大学総長がこれにあたる

会長 1 名 近畿大学医学部長がこれにあたる

副会長 1 名 会長が委嘱する

顧問 若干名 会長が委嘱する

幹事 若干名 会長が委嘱する

評議員 若干名 会長が委嘱する

監事 2 名 会員中より評議員会で選出し会長の承認を得る

2. 役員任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。

第 7 条 会長は、本会を統轄し、必要に応じて幹事会・評議員会を開催し、その議長となる。

2. 副会長は、会長を補佐し、会長が不在のときは、これを代行する。

第 8 条 幹事は、幹事会を組織し、本会の会務（庶務・会計・編集その他）を分担し執行する。

第 9 条 評議員は、評議員会を組織し、本会の枢要事項を評議する。

第 10 条 監事は、本会の会計および資産などを監査する。

第 11 条 総会は、年 1 回これを開催し事業の報告などを行う。

第 12 条 本会の会則を変更する場合は、評議員会において出席者の 2 分の 1 以上の同意を必要とする。可否同数のときは議長のきめるところによる。

ただし評議員会の成立は 2 分の 1 以上の出席を要する。この場合委任状をもって出席に代えることができる。

第 13 条 本会の会計年度は、毎年 1 月 1 日から始まり 12 月 31 日に終わる。

第 14 条 本会の事務所は、近畿大学医学部内におく。

#### 附 則

1. この会則は、昭和 51 年 11 月 1 日から施行する。
2. この会則の改正は、昭和 63 年 2 月 18 日から施行する。
3. 会費および入会金は次のごとく定める。

	会 費	入会金
正 会 員	年額 3,000円	1,000円
特別会員	年額 3,000円	1,000円
賛助会員	年額 50,000円以上	

なお、会費・入会金を変更する場合は評議員会において定め会員に通知する。会費は、年度はじめに前納する。

4. 会費未納の場合は、会員の資格を失う。
5. 会長は、編集委員若干名を医学部教員中より委嘱する。

委員は、医学雑誌等の発行に関する業務を行う。任期は 2 年とし、再任を妨げない。

#### 第 1 回（平成 3 年度）近畿大学医学会賞

受賞者：第 1 内科学教室 清 水 稔

受賞論文：心筋梗塞の急性期における心電図 S T

上昇の経時変化と臨床的意義

近畿大学医学雑誌 15：357-379, 1990 掲載

## 近畿大学医学会雑誌投稿規定

1. 近畿大学医学会は公式に2種の雑誌を刊行している。その一つは欧文誌 Acta Medica Kinki University (Acta Med Kinki Univ) で、用語は英語とするが、ドイツ語あるいはフランス語の論文も受付ける。他は和文誌近畿大学医学雑誌(近畿大医誌)で、用語は日本語とする。ただし、両誌とも抄録など特に指定された個所は英語を用いる。
2. 投稿者は原則として近畿大学医学会会員に限る。ただし、編集委員会が特に依頼したものなどはこの限りではない。
3. 論文は医学に関する創意的な原著、総説、症例報告などで、原則として他の刊行物に発表もしくは受理されていないものに限る。
4. 原稿は近畿大学医学会所定の原稿用紙もしくはタイプ用紙を用い、本規定および別に定める原稿作成要項に従って作成され、内容と体裁が整っており、直ちに印刷することができる状態のものでなければならない。
5. 原稿の本文の長さ、ならびに図、表、および文献の数は全体のバランスにより制限することがある。
6. ヒトを対象とする研究の報告はヘルシンキ宣言の原則にのっとり倫理的になされたものでなければならない。また、動物実験の報告は動物愛護の精神に基づき倫理的になされたものでなければならない。
7. 既出版の図表などの引用については出版社および著者の承認書を添付し、また個人識別ができる患者の写真を掲載するときは、患者本人もしくは法定代理人の承諾の手紙のコピーを添付することが必要である。
8. 投稿の際は、原稿(original)およびコピー4部ならびに編集委員会所定の連絡票および原稿チェックリストを提出する。
9. 共同執筆の場合、近畿大学医学会所定の書式で、すべての共著者が当該原稿を承認したことを記述した資料を添付すること。
10. 投稿原稿の掲載の可否は、すべて編集長が依頼した担当編集委員及び複数の査読者による査読を経て、決定される。
11. 論文の掲載の順序は原則として完成原稿の受理日の順とする。ただし、校正等に要する時間によっては掲載される号が変わることがある。
12. 校正は著者の責任において行われる。著者校正は初校のみとする。初校にあっては必要最小限の訂正に止め、行の増減を伴わないよう配慮すること。組版に影響するような大きな修正は編集長の許可を必要とする。指定の期日までに返却されないときは編集委員会の責任校了とする。
13. Acta Med Kinki Univ については、カラー写真の費用は全額著者が負担するものとする。近畿大医誌については、組版代および図版(写真を含む)費用の全額を著者が負担するものとする。また両誌とも別刷についてはすべて有料とす

る。なお、編集委員会よりの依頼論文など特殊な場合の経費については、別途に定める。

14. 特急掲載論文として当該年度の3月15日に学位記を授与されるための論文（甲）を9月1日より11月30日までの間に投稿する場合、近畿大学医学会事務室に特急掲載料（100,000円）を納付した後に受付される。
15. 発行予定は、Acta Med Kinki Univ が年2号、近畿大医誌が年4号とする。
16. 投稿先は〒589大阪府大阪狭山市大野東377番地の2近畿大学医学部近畿大学医学会雑誌編集室とする。（電話0723—66—0221内線3218）著者本人が持参するか、書留郵便で郵送すること。
17. 「原稿作成の手引き」は各巻の第1号に掲載されている。また、必要な場合は編集部に直接申込むこと。

（1992年3月1日改訂）

## 近畿大学医学会役員

名誉会長	世 耕 政 隆	幹 事 (会計)	大 鳥 利 文
会 長	野 田 起一郎	〃 〃	鈴 木 庸 之
副 会 長	吉 村 昌 雄	〃 (編集)	松 尾 理
顧 問	佐 藤 庄太郎	〃 〃	香 取 瞭
〃	岡 本 耕 造	評 議 員	教 授 全 員
幹 事 (庶務)	大 場 康 寛	監 事	末 包 慶 太
〃	〃 橋 本 重 夫	〃	宮 里 太 昂

## 編 集 委 員 会

松 尾 理 (編集長)			
大 場 康 寛	大 柳 治 正	香 取 瞭	
栗 田 孝	鈴 木 庸 之	谷 村 孝	
堀 内 篤			

---

「原稿作成の手引き」は各巻の第1号にあります。  
また必要な方は編集部宛お申込み下さい。

---

## 近畿大学医学雑誌

第17巻 第3号

平成4年9月20日 印刷  
平成4年9月25日 発行

編集発行人 野 田 起 一 郎

編集発行所 ☎589 大阪府大阪狭山市大野東377  
番地の2 近畿大学医学部内  
近 畿 大 学 医 学 会

印 刷 所 ☎577 大阪府東大阪市小若江3-4-1  
近 畿 大 学 印 刷 部

---